

令和6年度 神戸市立塩屋北小学校 学校評価報告書

神戸の教育が目指す人間像		教育ビジョン		神戸が目指す これからの学校の姿		
心豊かに たくましく生きる人間		自他を大切に 自ら考え 未来をつくる		人がつながり とともに創る みんなの学校		
り学 の校 目づ 標く	地域とつながる学校 明るく心の通い合う学校づくり 基礎的・基本的な学習の充実 言語活動の充実 積極的な情報発信					
内容		重点的な取組み	評点 (4段階)	特記事項 (学校自己評価)	関係者評価 (学校自己評価に対する学校運営協議会の意見等)	学校自己評価、関係者評価を踏まえた 次年度の重点的な取組みの案
育 て た い 子 ど も の 姿	笑顔あふれる塩北っ子					
	しっかりあいさつ 思いやりの心	しっかり挨拶・返事 異学年交流	4	全体的に挨拶は増え、進んで挨拶できる児童も増えてきている。 授業でも学年間で学習の発表会をしたり、委員会による遊びの活動をしたり等、異学年交流を行った。	挨拶については個人差があるので、根気強く声をかけ続けていく必要がある。 地域でも仲よく遊ぶ姿が見られる。 言葉遣いが気になるときがある。	異学年交流を大切にする。 見守り活動をしている方を招いて、感謝の会を開くことで、感謝の気持ちをもち、自分から挨拶できるようにする。 道徳の授業の充実。特に相手を傷つける言葉をなくしていくように努める。
	基礎から学習	漢字・計算など基礎的な学力の定着 分かりやすく考えを伝える（話す・書く）	3	ドリル、ICT機器を活用し、繰り返し練習を行い基礎学力の定着に努めたが、全体への十分な定着には至っていない。「話すこと聞くこと」をテーマに研修を行った。相手を意識し、考えを伝え合う場面を仕組んだ授業づくりを行っている。	学習の定着には時間がかかる。タブレットドリルではわかりにくいので、計算カード、ドリルを有効に活用する機会がもう少し必要ではないかと感じる。また漢字の学習でも書くことが必要に感じる。今後検証を重ねていく必要がある。少人数学習を取り入れてみる。	話す力・聞く力は、子供たちにとって必要な力である。今後も研修等で力を伸ばせるように取り組んでいく。タブレットドリルだけではどこで間違えているのか分かりにくいので、計算ドリルも使う。文章や漢字もノートなどに書くことを増やしていくようにする。基礎学力定着の為に少人数学習を取り入れてみる。
	たくましい体	しっかり遊ぶ 楽しい体育学習	3	どの休み時間でも、外に遊びに行く児童が多い。子供たちの体幹維持について研修を行い、「けんこうアニマル体操」を朝、各クラスで実施した。	昔は外遊びの中で培ってきた体幹や基礎体力が、ゲームなどで家に帰ってから屋内で過ごすことが多くなり、落ちてきている。	みんなが楽しめる体育授業を目指す。 朝の時間などに体操を取り入れることで、体幹を鍛えていきたい。
必 須 テ ー マ	①いじめ防止対策に関する取組み	子供が困ったときに適切な指導	4	日頃の様子、保護者からの連絡、いじめアンケート等から出てきた課題に対し、適切に指導を行うように努めている。	スマホなどを利用することで陰湿で見えにくくなっている。公園などで遊んでいても相手の名前なども知らない子もいる。人間関係をもっとオープンにしていく必要がある。	異学年交流や道徳の授業などを通し、相手の気持ちに立って考えられるなど、思いやりの心を育てていくとともに、いじめが起きた時には組織的に素早く対応していく。
	②不登校支援の取組み	SCや関係機関との連携	4	保護者と話し合い、SCや関係機関等と連携をとりながら進めている。	これからも保護者・関係機関等と話し合いながら、より良い方向に向け適切な方法で進めていってほしい。	本人の気持ちや保護者の思いなどに寄り添いながら、対応していく。登校のきっかけとなるように校内サポートルームも活用していく。
	③教職員の業務改善	授業時数の見直し	3	授業時数を正確にカウントし、余剰分を学期の始まりや終わりなどの昼からの授業カット分にまわした。放課後の時間が増え、余裕を持って業務を行うことができた。	業務改善を言われているが、子供の存在を忘れていているように感じる。授業時数を減らすことで子供たちの学力がどうなっているのか検証がない。業務改善を言われているが生徒指導問題については、対応する必要がある、難しさを感じる。	授業時数を減らしていくが、授業の質を上げることで学力補償につなげていきたい。少人数学習を取り入れることで、子供たちの基礎学力を上げられるようにする。
	④「すぐーる」の活用、ホームページにおける情報発信	毎日ホームページの更新	4	ほぼ毎日ホームページは更新できているが、見る人、見ない人の差は大きいように感じる。	ホームページを通して、未就学児の保護者などから入学前に学校の様子などを知ることができよかったという声を聞いた。今後も地域に発信してほしい。	可能な限り、ホームページを毎日更新する。 すぐーるなども利用し、広く知ってもらうようにする。
	⑤学校生活のルールや決まり（校則など）について	子供と話し合い、実態にあわせたルールを作っていく。	3	代表委員会で話し合った子供たちからの意見を聞いて、職員でも話し合った。どうしてそのルールが必要なのか、子供たちにも説明できるように職員で共通理解を行った。	安全に配慮しながら検討すると子供たちの意見通りにいかない部分はあると思う。実態に合わせながらルールを考えていってほしい。	次年度も、子供たちの意見を聞きながら、ルール作りを行っていく。

【評点】 4：十分達成できた 3：おおむね達成できた 2：どちらかと言えば課題がある 1：課題がある